

ドーチェスター・コレクション デザインへのこだわり

2016年8月

ドーチェスター・コレクションのホテルは、最高のロケーションに立地し、歴史あるアイコン的存在のプロパティに世界的な建築家やデザイナーが新たに手を加え、極上のサービスとスタイルを提供しています。ホテル元来の個性やデザインを生かしつつも、ドーチェスター・コレクションは世界のトップデザイナーとタッグを組み、様々な構想を実現していきます。そんなドーチェスター・コレクションのデザインについてご紹介いたします。

ザ・ドーチェスター (ロンドン)



Stanhope Suites

メイフェアに位置するイギリスを代表するホテル、ザ・ドーチェスターは、伝統的なイングリッシュ・レジデンシャル・スタイルにコンテンポラリーなテイストを組み合わせました。それぞれがクラシカルなイギリスの邸宅を思わせるデザインを用い、250室のスイートやゲストルームは、ゲストのニーズに応えるため、常に改修・改善されています。最近では、ニューヨークを拠点とするインテリア・デザイナーのアレクサンドラ・シャンパリモーがスイートルームを22室、

プロパティの歴史や典型的なイギリスのイメージをベースに、美しいイギリス住宅の独特なスタイルを取り入れ改装しました。アールデコ風のスタンホープ・スイートには、著名なイギリス人アーティストのコレクターズピースが飾られており、ロンドンのメイフェア地区を見下ろす優美なメイフェア・スイートは鮮やかなフローラル柄とアンティークのダークウッドの家具が目を引きまます。エントランスから入ったゲストは、ホテルのロビーから、人気建築家兼デザイナーのティエリー・デボンが改装したザ・プロモナードへと進みます。そこには柔らかなグースダウンのクッション、背もたれの高いディヴァン（寝椅子）や豪華な花瓶が飾られた暖かみのあるスペースが続き、部屋の先にはレザーを使ったクラシカルな楕円形のバーがゲストを迎えます。また、2014年にはフランス出身のインテリア&家具デザイナーのブルーノ・モワナーがザ・グリルを一新し、オリジナルの金メッキの天井や装飾が施された扉を残しながら、レストランの昼の顔を夜へと変化させる手作りのムラーノガラスのシャンデリアやミラー張りの旋回壁などを取り入れました。また、ロンドンにあるフォックス・リントン・アソシエイツ、およびマーティン・ハルバートは、1930年代の華やかさやエレガンスにインスピレーションを受け、印象的な南太平洋のパールを使用したシャンデリアや、クリームやネイビーでまとめたラグジュアリーなスペース等、まるで宝石箱のような美しい空間をスパの中に作りまました。



Mayfair Suite

45パークレーン (ロンドン)



Hyde Park Suite

ティエリー・デポンは、コンテンポラリー・ブリティッシュ・アートのコレクションが飾られたダイナミックなアールデコ風のインテリアとランドマーク的アーキテクチャーを利用したパーソナルなリビング空間を45パークレーンに作り上げました。大切な人と親密に過ごせるゲストルームやスイートルームはまるで個人邸宅のような雰囲気、洗練されたダークウッドをアクセントとする部屋に飾られたハリウッド黄金時代の若手俳優の魅力あふれる写真やハイドパークの眺め

が楽しめます。またペントハウス・スイートは部屋を囲むようなバルコニーが特徴的です。暖かみの感じられるロビーは風格あるウッドパネルの壁を採用し、通常の倍の高さの天井から下がるきらきらとした照明や回転するアート展示が目を引きまします。ロビーを抜けると、モダン・アメリカン・ステーキ・レストランのカット・アット・45パークレーンがあり、ダミアン・ハーストの作品と宝石のような色の長椅子が並びます。印象的な中央階段からは1階へ降りることができ、まるで会員制クラブのような雰囲気があるバー45、最先端の施設を誇るメディア・ルーム、そしてライブラリーにアクセスできます。プロパティの流線形の外観を彩るのは水平に並んだフィンと8階にわたり外壁を飾るドラマティックなアートパネルです。プロパティにはブルース・マククリーン、クリスチャン・ファー、ボブ・オルガン、サー・ピーター・ブレイク、ビル・ワイマン等の作品が飾られ、さらに交代制のアート展示があります。



The Penthouse Suite

カワース・パーク (アスコット)



The Spa at Coworth Park hotel

数々の受賞歴を誇るインテリア会社、フォックス・リントン・アソシエイツは、カワース・パークのジョージアン様式と乗馬施設としてのルーツを生かして、ドーチェスター・コレクション初となるカントリーハウス・タイプのホテル&スパを誕生させました。240エーカーの敷地に立つ伝統的なカントリーハウスにモダン・エレガンスを備える洗練されたリトリート施設はウインザー・グレート・パークに面しており、エコ・ラグジュアリーなスパ、美しいレストラン、ポロ

競技場、乗馬センター、そしてブロンズ製のオークツリーがゲストを迎えるエントランスホールがあります。パブリックルームはそれぞれ違う季節で演出されており、ドロワー・ルーム（応接室）は冬のシャープな白でまとめられ、オーバル・ルームは多種多様なイギリスの野の花に影響を受け、その名のとおり明るくカジュアルな部屋がサマー・ルームです。グレー・グリーンの花こう岩やユーモアたっぷりの美容院帰りの馬の絵が飾られたザ・バーは春らしい雰囲気、レストラン・カワース・パークは銅細工のオークの葉のシャンデリアやドングリなどの秋のアイテムで飾られています。マンション・ハウスの30室はカスタムメイドの

)(Dorchester Collection

家具が設置され、大きなジョージアン様式の窓からは美しい田園風景が望めます。ザ・ステープルには20室の客室とスイートルームがあり、銅製の浴槽やさりげない馬のデコレーションがアクセントを効かせています。ザ・コテージにはコンテンポラリー・スタイルの家具が配された11の部屋があり、ザ・ドワー・ハウスは1775年に建築されたプライベート・レジデンスで専用の庭や湖がついています。イギリス伝統の職人の技をふんだんに使い、調度品、家具やアートもほぼ全てがイギリス製です。またホテル内には400点以上もイギリスのアート作品が展示されています。



The Dower House

ル・ムーリス (パリ)



Le Dali

パリのチュイルリー公園の目の前に位置する素晴らしいパレス、ル・ムーリスは18世紀ならではの特別な贅沢さとコンテンポラリーなシックさを併せ持つプロパティです。2016年、人気デザイナーのフィリップ・スタルクと娘のアラ・スタルクは、ル・ムーリスの歴史、構造、精神の超現実的世界を生かすデザインでパブリックエリアを生まれ変わらせました。スタルクは、ル・ムーリスに滞在していたというサルバドール・ダリにインスピレーションを受け、ル・ダリという超現実的でありながらエレガントなダイニング・ルームを完成させました。シルクの笠がついたピンク銅の照明器具や白大理石のテーブル、そして16本の威厳ある柱等が新たに追加されましたが、その柱が立つ新しいカーペットとそれに同調する布地で覆われたドラマティックな天井はアラがデザインを手がけました。また、スタルクはヴェルサイユ風のダイニングであったレストラン・ル・ムーリスに、エーロ・サーリネンの代表作であるチューリップチェアや18世紀に影響を受けている天井画にふさわしいコンテンポラリー・デザインのカーペット等、モダンなテイストを加えました。バー228ではなじみ深い英国のクラブらしい雰囲気カラーの大理石、アンティーク調の真鍮、コーリアンのトップなど18世紀フランス風のタッチが足されました。ギャラリー・ポンパドゥールはバーの延長のような空間として、大理石トップのテーブルやピンク銅に縁どられたミラーがあり、レザーのアームチェアの背もたれには18世紀の著名人のポートレートがついています。ホテルの7フロアはそれぞれ異なるスタイルで演出されており、各客室やスイートルームはルイ16世スタイルで美しく飾られ、さらに静穏で新しく改装されたスパ・ヴァルモンも自慢です。



Bar 228

)(*Dorchester Collection*

ホテル・プラザ・アテネ (パリ)



La Cour Jardin

最近改装を終えた1913年創業のホテル・プラザ・アテネは、オート・クチュールの中心地にあるまさに典型的なパリジャン・ラグジュアリーです。威厳のあるロビー、アールデコ風ブラッセリー（ピヤホール）のル・ルレ・プラザ、蔦に覆われたラ・クール・ジャルダン、さらにラ・ギャレリー、サロン・オルガンザ、サロン・オート・クチュールの拡張と新デコレーション等、卓越したフランス人インテリア&家具デザイナー

のブルーノ・モワナーはプロパティの魅力がさらに生きるようにこれら共有スペースを新しくデザインしました。柔らかなサンドベージュ、ベージュ、プラチナ色をベースとしながら赤のアクセントがちりばめられているのは、ホテルのシンボルともいえるウインドウボックスの赤い日よけとゼラニウムの花にちなんでいます。ジュアン＝マンク・エージェンシーのパトリック・ジュアンとサンジ・マンクはアラン・デュカスのレストランとル・バーのデザインを一新しました。レストランには鏡のように光る3枚の大きな三日月形のステンレススチールをバンケット・テーブルの周りに立て、全体的に落ち着いたクリーム色を使用し、さらに雲のようにぶら下がるクリスタルの中にはきらびやかなシャンデリアが隠れています。バーの天井には雰囲気のある青い布地が垂れ下がり、バー部分はスタイリッシュな透明の樹脂を素材に用いました。8室のスイートルームと6室のゲストルームはデザイナーのマリー・ホゼ・ポメローが手掛け、建築家のジャン・ジャック・オリイがプロジェクトを総合的に監督いたしました。



Alain Ducasse au Plaza Athénée

ル・リシュモン (ジュネーブ)



Royal Armleder Suite

140年の歴史を誇るラグジュアリー・ホテル、ル・リシュモンには、109のゲストルーム、レストラン・ジャルダン、ル・スパ・バイ・シスレーがあり、1875年創業の素晴らしいホテルの歴史と、アルプスやレマン湖の見事な眺めを反映するような居心地の良さやエレガンスが自慢です。エレベーターの中に使用した金のモザイク・タイルや客室のクリスタルの壁燭台、クロムめっきのフロアランプ、流線形の50年代風チェア等、歴史ある調度品にモダン・テイストを加

えた新しいデザインを監修したのはイギリス在住のインテリア・デザイナー、ジョン・ステファニディスです。アールデコ調が魅力のル・バーは市街地のスカイラインを見下ろし、またル・ラウンジはポップなアート写真が賑やかに飾られたカジュアルで親密に過ごせる空間です。

ホテル・プリンチペ・ディ・サヴォイア (ミラノ)



Il Salotto

宮殿のような301室のホテル、ホテル・プリンチペ・ディ・サヴォイアはミラノのデザイン地区の中心部にあり、優雅さと時代を超えた伝統を兼ね備えています。ティエリー・デポンは、ぜいたくなイタリア製の家具、クラシカルな絵画、オリジナルデザインのカラフルな大理石、そして特注のムラーノガラスのシャンデリアを用い、美しいロビー・ラウンジ、イル・サロットのデザインを手掛けました。プリンチペ・バーのデザインも監修したデポンは、大理石やウッドパネルを使用し、またピアノの周りを囲むように設置されたカスタムメイドの寝椅子を導入しました。ロンドンのデザイナー、フランチェスカ・バスがデザインしたプリンチペ・スイートには手描きのフレスコ画、ロンバルド調のテーブル、ラサ産大理石のバスタブがあります。4つのインペリアル・スイートはミラノのチェステ・デルアンナがデザインを手掛け、ワニ皮のデスク、贅沢な生地に含まれた四柱式ベッド、そしてトルコ風呂が特徴です。また人気のアカント・レストランには、ポール・ヴァレがイタリアで初めて手掛けたショー・キッチンと、チェステ・デルアンナがホテルの静寂な庭園と18世紀から残る噴水の要素を取り入れたダイニングスペースがあります。そして最上階にはミラノの街を見下ろすクラブ10フィットネス&ビューティー・センターがあります。



Acanto Restaurant

ホテル・エデン (ローマ)



Hotel Eden

現在改装工事中的のホテル・エデンはローマの中心地に立ち、プロパティの持つクラシカルなローマ・スタイルにコンテンポラリーな工夫が追加され2017年初頭にオープン予定です。1889年に建てられたこのラグジュアリー・ホテルには、クリーム系でまとめられた98室のスイートルームとゲストルーム、そして4BI&アソシエイツのブルーノ・モワナーがグラフィック模様の大理石の床とゴールドのトーンでまとめたロビーが新しく誕生します。ジュアン=マンクのサンジ・マンクはスパ・スイートを含む、新しいスパをデザインしており、さらに6階のレストランやバーも自然要素を取り入れた洗練のデザインとローマのパノラマ・ビューを楽しめる場所に生まれ変わらせます。

)(Dorchester Collection

ビバリーヒルズ・ホテル (ロサンゼルス)



Bungalow 5

「ピンク・パレス」と呼ばれてきた由緒あるビバリーヒルズ・ホテルは、そのまま最高レベルのラグジュアリーとスタイルを保つため入念な改装工事を行ってきました。2016年にはアレクサンドラ・シャンパリモーが、シンボリック存在のバンガロー（バンガローNo. 5、8、22を含む）のデザインを一新しています。バンガローNo. 5は伝説のゲスト、エリザベス・テイラーの気まぐれな人生をテーマとし、彼女のイギリスのルーツや映画の人気役を表現しています。バンガロー

No. 8はホテルの栄光やカリフォルニア・スタイルを反映し、デコラティブな壁紙やハリウッド・リージェンシーを忍ばせるアクセント、そしてピンクやグリーンをカラーパレットの基調としています。バンガローNo. 22は常連ゲストであったフランク・シナトラにちなみ、男性らしさ、そして70年代後半のデザインを中心に、レザーやストーンを使用しています。2012年の100周年記念に合わせ、有名デザイナーのアダム D.ティハニーがホテル細部まで美しく生まれ変わらせ、伝説のパワーランチがあるポロ・ラウンジのレストラン、ヤシの木が並ぶプール、プライベート・カバナやカバナ・カフェ等も改装されました。メインの建物にあるゲストルームやスイートルームには、ホテルのシンボルであるピンクやグリーンをアクセントカラーとして用い、そこにクリーム色、ブロンズの備品、黒いオーク材やモヘアを組み合わせています。また、同じくホテルのシンボルであるバナナリーフの模様をプロパティのあらゆる場所にちりばめたティハニーは、ロビー中央にもライムストーンで大きな円形のバナナリーフを描いています。



The Polo Lounge

ホテル・ベルエア (ロサンゼルス)



Lobby Lounge

華やかなロサンゼルス隠れ家ホテル、ホテル・ベルエアは2011年に大規模な改修工事を経て、ピンクのしっくい塗られた外観は残しつつ、流線形でコンテンポラリーなルックスに生まれ変わりました。アレクサンドラ・シャンパリモーが新しくデザインしたロビーはホテルの有名な庭園になじむ柔らかなオリーブグリーン、バイオレット、シルバーを基調としています。他にもラ・プレリーのスパが新しく導入され、またスタイリッシュでモダンな家具が設置された明るく新しい

客室が15室誕生しました。有名なアメリカの建築家兼デザイナーのデビッド・ロックウェルは、ウルフギャング・バックのレストランとスタイリッシュなラウンジにふさわしい荘厳な大理石の暖炉や、プライベート・カバナやバックライトで照らされたオニキスの壁が美しい庭園、そして贅沢なウッドパネルの壁とブロンズ、チーク材、ラッカー塗りの木材でできた居心地の良い寝椅子が置かれ、オープンなレイアウトに変身したザ・バー等、このホテルが昔から持つ華々しいハリウッドの魅力に似合うコンテンポラリーなテイストを加えました。

)(*Dorchester Collection*

12エーカーの緑豊かな庭園に囲まれたホテル・ベルエアには58室のゲストルームと45室のスイートルームがあります。中でもそれぞれ異なる仕様の7つの特別なスイートルームは、どれも魅力にあふれ、インターナショナルなスタイルも有する優雅な生活を演出します。



Wolfgang Puck at Hotel Bel-Air

ドーチェスター・コレクションに関して

ドーチェスター・コレクションは、欧米にラグジュアリー・ホテルを所有、または運営をしています。その国や都市を代表するランドマーク的存在のホテルをコレクションに加え、洗練された本物のホテルをコンセプトに、その土地の特徴や文化を巧みに取り入れ、それぞれのホテルの歴史と伝統を生かし、卓越したおもてなしと、かけがえのない体験を提供しています。

現在のポートフォリオには下記の通りです。（コレクション加盟順）：

ザ・ドーチェスター（ロンドン）、**ピバリーヒルズ・ホテル**（ピバリーヒルズ）、**ル・ムーリス**（パリ）、**ホテル・プラザ・アテネ**（パリ）、**ホテル・プリンチペ・ディ・サヴォイア**（ミラノ）、**ホテル・ベルエア**（ロサンゼルス）、**カワース・パーク**（イギリス、アスコット）、**45パークレーン**（ロンドン）、**ル・リシュモン**（ジュネーブ）、**ホテル・エデン**（ローマ）

ドーチェスター・コレクションの詳細は、dorchestercollection.com でご覧ください。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
ドーチェスター・コレクション日本地区GSA、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

Tel : 03-3403-5328 Fax : 03-3403-5329 E-mail : info@kentosnetwork.co.jp
Web : www.kentosnetwork.co.jp Blog : www.kentosnetwork.co.jp/wp

 twitter.com/LUXE_TRAVEL

